

香港日本語教育研究会会長  
梁 安玉

会員の皆様、

香港日本語教育研究会は 1978 年に創立され、以来 40 余年間、在香港日本国総領事館をはじめ、日本関係各団体及び機関、会員の皆様のご指導、ご鞭撻により、香港内のみならず、世界各国、地域で日本語教育・日本研究に携わっている方々との学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

さて、2019 年度における当研究会の活動でございますが、3 月に国際交流基金さくらネットワークの助成により「日本語学習者の学習意欲を向上させるアクティブラーニングの理論と実践」というテーマで講演会及びワークショップを開催いたしました。

5 月に「第十五回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を催し、4 部門において小中高生計 47 名の出場者が素晴らしいパフォーマンスを披露し、来場者に大きな感銘を与えました。

また、皆様に長年ご協力をいただいております学会誌『日本学刊』の第 22 号を 6 月に出版し、香港及び海外の日本語教育、研究関係機関、会員に配送いたしました。

7 月と 8 月に第 9 回日本語成績優秀者の奨学金および日本研究関係のプロジェクト賞の書類審査と面接を行い、9 月に授与式を挙りました。奨学金は高校生 6 名、副学士課程の学生 3 名に、プロジェクト賞はそれぞれ 15 名と 8 名に授与いたしました。2019 年度まで、奨学金の受賞者は高校生計 45 名、副学士課程の学生計 38 名で、プロジェクト賞の受賞者はそれぞれ 96 名と 88 名でした。

なお、香港で日本語教育に従事している方々のご要望に応じるため、国際交流基金海外派遣日本語専門家の齋藤誠先生にご協力いただき、日本語教育のワークショップ及び集中日本語教師セミナーを開催し、好評を博しました。

6 月及び 11 月に 2019 年度第 1 回と第 2 回の日本語能力試験 (N4 及び N5 級) 模擬試験を実施し、応募者総数は 1000 名でした。7 月及び 12 月に 2019 年度第 1 回と第 2 回の日本語能力試験 (N1-N5) を実施し、応募者総数は 15,759 名でした。

そして、海外との交流をめぐるには、研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。

2019 年は日本では新天皇のご即位により、元号が「令和」に改められ、新しい時代への幕開けと期待されています。

私は研究会の会長として、令和元年春に日本政府より旭日小綬章を受章いたしました。この叙勲は私、また、研究会が今まで努めてまいりましたことを皆様方が認めてくださった結果と認識し、非常にありがたく思っております。この様な身に余る荣誉ある素晴らしい勲章を受章できたことはひとえに皆様のお力添えとご支持の賜物であると思っております。従いまして、これは私一個人への授章ではなく、日本語教育、日本研究に携わっている皆様へのご表彰でございます。同時に、この令和元年の叙勲は今後の日本語教育・日本研究の新たな展開への期待でもあると考えております。

これまで長い間、在香港日本国総領事館及び国際交流基金の多大なご支援、香港の各教育機関、日本関係各団体、先輩方の多大なる応援を賜りつつ香港における日本語教育に貢献できることを誠に喜ばしく思っております。

今後とも皆様よりの倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りながら、微力ではありますが、ますますの努力をいたし、貢献していく所存でございます。

最後になりましたが、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。また、2019 年度における研究会の恒例事業と行事が順調に運ばれたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたします。

香港における日本語教育の普及と促進が今後ますます繰り広げられますことを心より期待し、世界各地域との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる促進と振興に貢献できましたら幸いです。今後とも、引き続き、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

以下、2019年度(2019年1月1日-12月31日)の当研究会の活動の詳細をまとめました。

- 2018年10月6日-2019年5月25日、2018-19年集中日本語教師研修セミナーを開催しました。
- 3月9日-3月10日、「日本語学習者の学習意欲を向上させるアクティブラーニングの理論と実践」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金さくらネットワークでした。

#### 【講演会】

- 1 「授業改善の視点と具体的方法」  
講師：横溝 紳一郎 先生（西南女学院大学人文学部英語学科教授）
- 2 「朗読メソッドを用いて日本語に息を吹き込もう！」  
講師：青谷 優子 先生（バイリンガル朗読家・フリーアナウンサー・英語コミュニケーション講師）

#### 【ワークショップ】

- 1 「授業の改善にチャレンジしてみよう！」  
講師：横溝 紳一郎 先生（西南女学院大学人文学部英語学科教授）
  - 2 「朗読メソッドを用いた読みわけの実践」  
講師：青谷 優子 先生（バイリンガル朗読家・フリーアナウンサー・英語コミュニケーション講師）
- 4月17日、4月25日及び5月18日、日本語教育ワークショップ「『まるごと』で教える（中級編）」を開催しました。
  - 5月5日、第15回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。出場者総数は47名で、小学生の暗誦の部が10名、中高生の暗誦の部が8名、中学生の朗読劇の部が5チーム、高校生のスピーチの部が7名でした。
  - 6月、『日本学刊』第22号を出版し、香港及び海外の日本語関係機関に郵送し、総会にて会員へ配布しました。
  - 6月23日、2019年第1回日本語能力試験(N4及びN5級)模擬試験を実施しました。応募者数は500名でした。
  - 7月7日、2019年第1回日本語能力試験(N1-N5)を実施しました。応募者数は7,798名でした。
  - 7月13日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接を実施しました。

- 8月3日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 8月21日、日本語教育 mini ワークショップ「『話すこと』の評価～ロールプレイカードを作ろう～」を開催しました。
- 9月8日、香港日本語教育研究会第11回総会を開催しました。
- 9月21日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を開催しました。
- 2019年10月5日～2020年5月23日、2019-20年集中日本語教師研修セミナーを開催しました。
- 11月17日、香港地域における2019年第2回日本語能力試験(N4及びN5)模擬試験を実施しました。応募者数は500名でした。
- 12月1日、2019年第2回日本語能力試験(N1～N5)実施しました。応募者数は7,961名でした。
- 2019年度の香港における日本語能力試験実施は2回で、応募者総数は15,759名でした。

#### 【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2019年度は計11回の会議を実施しました。

#### 【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、当研究会事務所ホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。

講師は香港で高等教育、中等教育、日本研究に携わっていらっしゃる方々でした。2019年度は計6回開催し、参加者数は平均20名でした。

以上